

新規スタックポリシートの効果確認試験

JA 標津町

合同会社 グラスONE



試験目的

新規スタックポリシート(ロール品)の実用性確認

試験作物 及び品種

牧草サイレージ グラスサイレージ(1番草)

試験資材 及び数量(規格)

スタックポリシート(3層)
(0.15mm×15m×50m) 2本(ロール) ホクレン包材(株)

慣行資材

スタックポリシート(3層)
(0.15mm×15m×50m)(たたみ) ホクレン包材(株)

資材使用期間

7月9日~11月9日

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

作業性については、従来は人力での展張であったが、機械(リフト)を利用した展張が可能となり、従来より容易に作業することができ、省力化につながった。

また、作業時間についても同様に短縮化をはかることができた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

現状では判然としないものの、当資材を使用したことによるサイレージ品質への影響はないものと考えられる。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

現行品と同様に問題なく使用できた。

モニター感想

慣行品と比べ作業性が向上し、省力にもつながった。

また、破けや擦れに対する強度も慣行と遜色はなかった。

JA担当者の感想(資材生活課 鎌田主任)

近年の生産者の大型化およびTMRセンター稼働により、バンカーに使用する資材は従来より大きな規格の需要が増えている。

その中で、当資材のような作業性向上および省力化につながる品目を提案できることは現場ニーズに対応する上で非常に重要であると考えている。

一方で、安定供給といった流通面を考慮すると、同様の品目を国内で製造するような検討をしてほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 養鶏用フィルム

2 敷設フィルム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 酪農資材

9 ICT機器

10 その他